

# 復興大学「3.11伝承ロード視察研修会」

学都仙台コンソーシアムの一環として運営されている「復興大学」では、毎年一般社会人や学生を対象に様々な公開講座を開講されています。

今年は、特に学生をメインに、岩手県の震災伝承施設を巡りながら、震災伝承の取り組み、地域の復興の様子、様々な施設の地域における役割を学ぶ「3.11伝承ロード視察研修会」を実施しました。

3.11伝承ロード推進機構では、その視察行程の作成、語り部のご紹介など、研修会がより学びの深いものになるようお手伝いさせていただきました。

## 【概要】

期 日：令和2年2月7日（金）、8日（土）

対 象：学生及び教職員 24名

参加費：無料（事務局負担）

## 【伝承機構の関わり】

- 1) 行程作成補助
- 2) 見学施設紹介、仮予約
- 3) 講師及び語り部紹介、調整、仮予約
- 4) 昼食先紹介
- 5) DVD「未来に向けて～防災を考える」貸出

## 行程表（1日目）

時間	行程
8:50	仙台駅東口集合
9:00	仙台駅出発 三陸道経由、「道の駅三滝堂」にて休憩
12:00～	【道の駅高田松原】昼食（各自） 津波復興祈念公園は各自、自由見学（往復15分程度）
13:15 ～14:20	【東日本大震災津波伝承館】 見学13:20～（60分）館内スタッフによる展示解説
	休憩10分
14:30 ～15:20	【道の駅高田松原】講義（50分） 対応：陸前高田市観光交流課 村上様 ・「道の駅高田松原」の地域における役割について
15:30	陸前高田出発（三陸道経由、「道の駅さんりく」にて休憩）
17:30	宮古市内宿泊所到着

## 行程表（2日目）

時間	行程
8:30	宿泊先出発
9:00 ～11:00	【道の駅たろう】潮風ステーション 到着 ・学ぶ防災ガイド合流 ・ガイド2時間コース（ガイド料1万円）
	移動（60分）
12:00～	【うのすまいたモス】昼食（各自） 「いのちをつなぐ未来館」他、各自見学
	移動（徒歩約15分）
13:10	【釜石鶴住居復興スタジアム】西側駐車場 各自集合
13:15 ～13:45	【釜石鶴住居復興スタジアム】 ・スタジアムスタッフによる解説あり
	移動
	【道の駅遠野風の丘】 ・災害拠点、復興拠点でもある道の駅を見学、休憩
	東北道経由（前沢SAにて休憩）
18:00	仙台駅到着

復興大学  
Fukushima University Alliance

～この地で復興を考え、学ぼう～

## 3.11伝承ロード 視察研修会

参加学生募集!!

3.11伝承ロードとは、東日本大震災の教訓を学ぶための震災伝承施設のネットワークを活用して、防災に関する取り組みや事業を行う活動を言います。東日本大震災の被災地には、被災の事情や教訓を学ぶための遺構や展示施設が数多くあり、その施設を「震災伝承ネットワーク協議会」が「震災伝承施設」登録しております。  
この道の視察研修では、岩手県陸前高田市、宮古市、釜石市等の「震災伝承施設」の現状と伝承を学び、併せて地域の産業再建や交流拠点、さらには防災拠点機能を有する「道の駅」の役割などについても学びます。

研修日	令和2年2月7日(金)・8日(土)	
参加費	旅費は事務局で負担（1泊2日）	申込締切
対象	学生、教職員（事業関係者）	令和2年1月30日(木) 定員になり次第、受付を終了します。
テーマ	3.11伝承ロード「震災伝承施設」及び「道の駅」の視察研修	

**2月7日(金)** 仙台駅発9:00

- 道の駅三滝堂
- 道の駅高田松原① 12:00～15:30
- 道の駅さんりく
- 宮古市内宿泊場所 17:30着

**2月8日(土)** 宿泊場所発8:30

- 津波遺構「たろう観光ホテル」② 9:00～11:00
- 道の駅みやこ（もしくは道の駅たろう） 11:30～12:30
- 釜石鶴住居復興スタジアム③ 13:30～13:45
- 道の駅遠野風の丘④ 14:40～15:10
- 仙台駅 18:00着

※移動手段はすべてバスとなります。  
主催：復興大学 企業支援ワンストップサービス事業

岩手県  
宮古市  
釜石市  
道の駅高田松原  
道の駅遠野風の丘  
道の駅さんりく  
道の駅たろう  
道の駅みやこ  
道の駅高田松原

たろう観光ホテル  
釜石鶴住居復興スタジアム

# 復興大学「3.11伝承ロード視察研修会」

## 【感想】

《参加者（アンケート一部抜粋）》

- 「陸前高田の伝承館にもう一度、家族で行きたい。」
- 道の駅と公園、伝承館のコンセプトについての説明を聞き、素晴らしいと感じた
- 被災した企業がどのような過程を経て、どのくらい再建しているのか知りたい。
- 今回は岩手方面の津波災害を学んだ、次は福島方面で原発事故に関して見学したい。
- 座学だけでなく、現地を見ることで学びが深まった
- 初めて宮城県以外の被災地を見学し、共通点や違いを見ることができた。

《事務局》

- 次回はさらに具体的な学びを深めるため、見学個所を減らし、住民と関わる時間を取り入れたい。
- 遺構として残す伝承館（気仙沼等）と、何もなくなったところから整備された伝承館（陸高）の違いを学べるコースもあるとよい。
- 学生が得た学びをアウトプットする機会を作りたい。伝承ロードの今後の取り組みに復興大学の実績も残る形としたい。
- 施設を中心とした周辺の紹介や、モデルコースの充実を望みます

